

＜令和6年度 第9回 前林地域会議 会議録＞

日 時 令和6年12月20日（金） 19:00～20:30
場 所 前林交流館 多目的ホール
出席者 委 員 17名
事 務 局 吉澤支所長、中野副支所長、松原副主幹、天野担当長
オブザーバー 石川市議

1 会長あいさつ（省略）

2 報告事項

（1）令和6年度 地域課題解決事業等について

①商業機能を起点とした地域の活性化促進事業の進捗について事務局より報告。

＜委員＞ 4月に移動販売と地域交流型マルシェを開催したい旨、市から説明があった。
現在、移動販売は実証実験中だが、今後、地域交流型マルシェは、移動販売と一緒に
行っていくのか。できれば、移動販売と一緒にいった方が、人は集まりやすいと思う。

＜事務局＞

- ・地域交流型マルシェは、現在、事業が追いついていない状況である。毎週水曜日の移動販売が定着してくるようであれば、移動販売の売上げは別として、例えば、地域で家庭菜園を行っている方が、作られたものを移動販売に合わせて、一緒に販売できたらと思っている。具体にはなっていないが、イメージとして、移動販売の時間帯に地域で開催されている朝市のようなものが地域マルシェとしてできないか考えている。
- ・土曜日は、前林交流館と高岡コミュニティセンターで、業者に委託して、音楽を流したり、1月には獅子舞を行う予定である。まずは、事業の定着を優先して進めながら発展させていきたい。
- ・水曜日は、区民会館等の会場にいる時間が30分と短いため、自治区には参加者へのお茶会等ができないか依頼している。こちらも徐々に進めながら検討しており、良いアイデアがあればよろしくお願いします。

②高岡4地域自主防災サポーター養成講座の開催について事務局より報告。

③交通安全・防災啓発イベントの参加について事務局より報告。

＜委員＞ 豊田市消防団の合同訓練会を見学したが、自治区で行う防災訓練よりレベルが高く、参考になった。是非、駒場小学校でも行ってほしい。

④高岡コミュニティセンターでの常設展示ブース設置について事務局より報告。

＜委員＞ こちらの展示ブースは前から行っていたのか。

＜事務局＞ これまで、ラリージャパンの周知と交通安全啓発を行っていた。11月でラリージャパンが終了したが、継続して防災や交通安全などの市の取組を紹介していく

ため、高岡コミュニティセンターにお越しの際は、御覧ください。

3 協議事項

(1) 令和7年度に実施する交通安全・防災対策事業について

令和7年度に実施する交通安全・防災対策事業について、3つのグループに分かれて協議。

①交通安全事業

【Aグループ】

- ・安全のみどり線の調査を実施したが塗られていないため、塗ってほしい。
- ・通学路の草刈（堤小学校歩道橋下）を地域と企業との共同（中と外）で実施している。毎年企業に依頼するため、定期的な実施できる仕組みができると良い。
- ・堤小学校付近の交差点に右折レーンがなく危険なため、増設した方が良い。
- ・地域で年2回立哨活動を行っているが、少数でもよいので活動回数をもう少し増やしてはどうか。（月2回金曜日（ドライバーの気が緩む時期））

【Bグループ】

- ・地域内道路を抜け道として、かなりのスピードを出して通行する車（市外ナンバー等）が多いため、規制（標識の増加等）をすることができないか。また、地区住民と企業を含めて対応策を考える「ゾーン30」の検討のほか、道路によっては途中から歩道が無くなる場所もあるため、歩道の拡幅等の整備ができないか。
- ・草が伸びて道路の見通しが悪い場所があるため、見守りパトロール隊を組織して情報集約（草が生えている、土砂がたまっている、カーブミラー、ラインが消えている箇所等）して、歩道の草刈りや草木の除去等を行うのはどうか（地域で行う）。
- ・前林地域に「ぴかっとわたるくん」が設置されたが、市外から来る車は知らずに通過してしまうため、市外の人にも周知できるとよい。
- ・パトロールなどに活用するベストを全家庭に配布してはどうか。これらを着用して歩くだけでもドライバーへの啓発になるのではないか。（児童を送る保護者等にも）
- ・大人も含めて、自転車の乗り方、交通ルール、法律の変更（自転車関係）への対応のため、小中学生への交通安全指導や自転車教室（安全指導、講習など）を開催してはどうか。
- ・危険箇所を発見した場合に自治区だけでは広がらないため、地域会議で意見集約して出していけば、改善されるのではないか。

【Cグループ】

- ・通学路の標識や安全のみどり線が古くなっているため、リフレッシュした方がよい。
また、標識が多く見にくい場所があるため、標識を減らすなど改善してはどうか。
- ・駒場小学校の正門に入る時が危ないため、外に車が止まる場所がほしい。
- ・大通りを歩く場所で、ガードレールがあった方がよい場所に設置してほしい。
- ・ヘルメットの普及率を伸ばすため、前林地区を特区として全額補助（上限2,000円補助）してはどうか。全額補助を行うと小中学生や年齢の高い世代で着用率が

上がると思う。

- ・前林中学校生に対する交通安全指導

②防災対策事業

【Aグループ】

- ・防災品、ビデオ等を各自治区支給する。
- ・様々なイベント（体育祭、文化祭等）で防災備品を配布する。
- ・各自治区でイベントに合わせて防災訓練をする（防サイ君を呼び対応する）。
- ・自治区で防災ビデオを見る（環境美化後に区民全員参加）。
- ・消防団と共同して、定期的に防災訓練を実施する。
- ・企業からの避難所の協力を得る。

【Bグループ】

- ・高齢者だけでなく若手（組長レベル）にも参加してもらうとよい。
- ・防災訓練の参加・準備など、中学生の活躍する場面も多いため、中学生への訓練ボランティアの声掛けの方法等を検討してはどうか。
- ・避難の声掛けの担当を決めておくとうい（水害時）。
- ・避難所がハザードマップの中心にあるため、別の避難場所がほしい。（近隣市町村との避難所連携は可能）
- ・防サイ君は有意義な体験であり、全員が体験するとよい。
- ・避難ルートの再確認を行うとうい（水の流れ）。
- ・地域企業からも防災訓練・合同研修に参加してもらう声掛けをするとよい。
- ・防災備品の充実のため、個人への購入補助、必要な物のチェックシートの配布（目安）、防災ボトル、車に乗せておく応急物品のリストアップ（補助可能な物の補助）
- ・自助のための防災予算の確保（かみおむつ等）
- ・有事の際の企業協力を依頼するための協定締結及び合同訓練の計画
- ・前林地区の合同防災訓練（一人暮らしの高齢者の対応を明確にしておく）

【Cグループ】

- ・自治区の自主防災組織の組織表はあるものの実際に防災訓練をしていないところもあり、実態に即した訓練を行ってはどうか。（ふれあい祭りの中で防災訓練を行っているとところもある）
- ・堤小学校で避難所設営訓練等が行われ、参加者から有意義な訓練であったとの意見があったため、自治区単位（少人数単位）で行うことができないか。
- ・避難訓練を実施している自治区もあるが、避難場所に集合し終わってしまうことがあるため、集合後に何を行うかまで踏み込めるとよいのではないか。
- ・訓練時に炊き出しを行った方がよい（有事の時に非常にためになる）。
- ・一時避難所までの距離を歩いて体験するべきではないか（小中学生の授業の中に取り入れてはどうか）。
- ・防災用品の保管場所がどこにあるか分かっていないのではないか（鍵の保管場所は

一部の人しか把握できていないと思う)。

- ・ A E Dの場所を防災マップにのせてはどうか。
- ・ 駒場小学校が風水害（洪水）の避難場所となっていない。民間企業との連携の話はあるため、市として、避難所に正式に認定してもらい地域に周知する対応ができないか。
- ・ 刈谷ハイウェイオアシスが避難所になると避難しやすい。
- ・ 防災袋において、高齢者用の案内が必要ではないか（薬の種類等）。

4 その他

- ・ 費用弁償（4～10月分）の支払いについて事務局より報告
- ・ 次回は、令和7年1月17日（金）午後7時から前林交流館で開催。